

第2期行財政健全化計画（案）に対する市民意見提出制度（パブリック・コメント）を実施しました。

実施状況

件名	第2期行財政健全化計画（案）について
期間	平成23年2月10日から2月25日まで
公表方法	市の公文書公開コーナー及び企画財政課での閲覧、ホームページ掲載
受付件数	3件（提出者1名）

提出された主な意見とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

意見に対する市の考え方の公表場所

市ホームページ、広報あいおい（4/10号）、公文書公開コーナー（市役所内）

市民意見提出制度により提出いただいたご意見とそれを受けての市の考え方は次のとおりです。

【ご意見】

相生市は第1期計画において行財政非常事態宣言を出し、新規の公共事業を抑え収支をどうにか均衡させ現在に至っている。

そうした中、4月から実施しようとしている市立幼稚園・小中学校給食無料化事業は市にとって時期尚早で、もっと先にしなければならない事業が沢山あると思います。

この事業をするにあたっては1億円余りの予算が必要であり不足金については財政調整基金15億4千4百万円から取り崩すこととなっているがこの基金は万一の災害時等緊急事態に対処するためのお金であり、市の規模から言うと最低10億円以上が必要と決められている。そうした大切な基金をあてにしてまで行う必要は無いと思う。

【市の考え方】

（修正しません）

貴重なご意見として承ります。

相生市の人口減少は近隣に比べて著しく、この10年で約3,000人が減少しています。また、兵庫県の人口推計では50年後の相生市の人口は1万5千人を下回ると予測されています。そのために、人口の社会増を図るための取り組み、自然増を図るための取り組みとして今回の活性化事業を提案させていただきました。

市としては、この事業の実施時期が早いとは思っておりません。様々なご意見もあると思いますが、今手を打たなければ手遅れになるのではないかという危機感を持って実施しようと考えております。

また、財政調整基金の使途は大まかに言えば、①著しい財源不足を埋める、②災害に伴う減収の財源不足を埋める、③大規模な建設事業の財源にあてる、④財産の取得のための財源にあてる。と定めております。加えて、財政調整基金の残高についてですが、市の規模によって必要額が決められてはおりません。相生市では、平成27年度末で5億円以上を維持するという目標を掲げて財政運営を行う計画としております。

参考に平成21年度末の財政調整基金残高ですが、近隣では赤穂市が約4億9千万円、たつの市が約36億9千万円となっています。

中期財政推計の中で示させていただいた普通建設事業が財政調整基金の使途③、④に該当する支出で、その財源として取り崩しを行う予定としております。

給食無料化事業の財源は約1億円ですが、この財源は収支バランスを見ながら行革効果で捻出した財源で賄うこととしており、給食無料化事業に財政調整基金を取り崩して行う訳ではありませんので、ご理解賜りますようお願いいたします。

【ご意見】

当市は義務的経費が全体の45%を超え、財政硬直化は続いている。
県下において当市職員の給与は国家公務員の99.6%で上から12位と大変高い。
市の税収から見たとき近隣市町村に合わせるかそれより下げて当然だと思う。

【市の考え方】

(修正しません)

ご意見の趣旨を十分に踏まえて今後も行財政運営を行ってまいります。

計画(案)の修正等はいりません。

相生市の義務的経費は、これまでの実施してきた土地区画整理事業に関する地方債の発行、高齢化率が高いため扶助費が増大していること、また平成18年度から取り組んだ第1期の行財政健全化計画で単独事業を抑制したことが要因として挙げられます。近隣の義務的経費の割合についてですが、赤穂市では(47.2%)、たつの市では(44.4%)といった数値になっています。

また、ご意見にありました、ラスパイレス指数については平成21年度が99.6ポイントで県下29市中13位であります。最新の平成22年度の指数は98.0ポイントで県下29市中16位となっています。また、この数値は近隣市と比べて大きな差になっていません。

相生市では、行財政健全化を行う以前から人件費の削減に取り組んでおります。その考え方として、単に職員給与の抑制を行い人件費の削減を行うことで、職員意識が減退し市民サービスが低下することのないよう、ある程度の給与水準を維持しながら総額の抑制に取り組んできました。その結果、ラスパイレス指数は現在の数値となっています。

これまでの取り組みにより平成22年度における対平成12年度比削減として職員数107人、25.8%の減で、人件費8億2,650万円、26.3%の削減、対平成17年度比で職員46人、13.0%の減で、人件費4億9,505万円、17.6%の削減を行ってまいりました。

ラスパイレス指数は人件費に関する一つの指標ではありますが、人件費削減の取り組みも含め総合的にご判断いただき、ご理解賜りたいと考えます。

【ご意見】

お金に余裕があるのなら各小中学校の校舎の耐震化を早く実施すべきでしょう。

【市の考え方】（修正しません）

ご意見として今後の行政運営の参考とさせていただきます。

計画（案）の修正等はいりません。

財源には余裕があるわけではございませんが、市全体として取り組まないといけな
い課題は多くあります。優先事業についてもハード整備、ソフト事業の充実など価値
観などのよっても様々な見方が出てくると思いますが、総合的に対応していかなけれ
ば、相生市は益々疲弊する恐れがあります。

そこで、賛否両論があるかもしれませんが、相生市の将来のために子育て、教育と
いった子育て支援、並びに人口減少対策に集中して投資を行おうというのがこの度の
計画ですのでよろしくご理解お願いいたします。

また、各小中学校の耐震化については、計画を持って進めておりまして、倒壊の恐
れがあるIS値0.3未満の学校施設の耐震補強は全て完了しましたので、現在、IS値0.3
～0.7未満の学校について計画的に進めており、平成30年度には全てが完了する予定と
なっています。